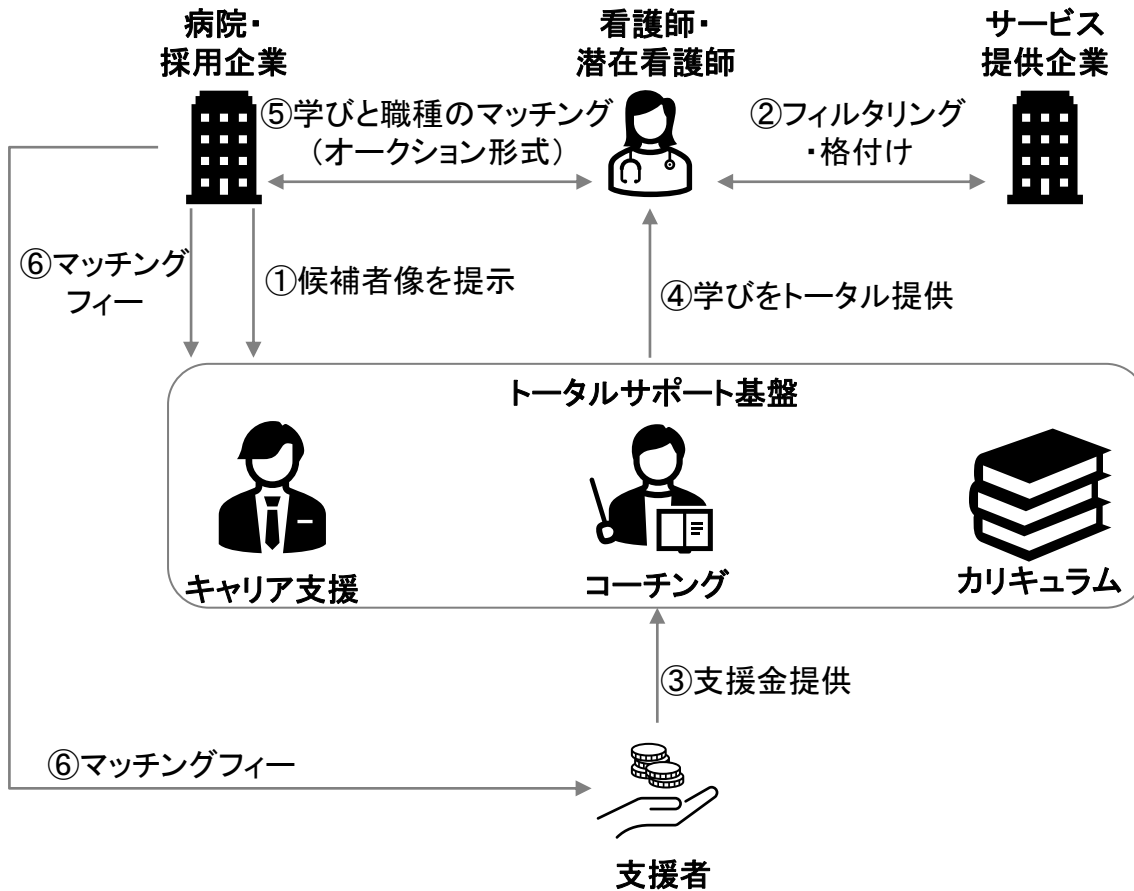


A healthcare worker in pink scrubs and a stethoscope is shown in profile, smiling and holding the hand of a patient lying in a hospital bed. The patient is wearing a patterned hospital gown. The background is a blurred hospital hallway.

学習支援型人材紹介事業
PoC(実証実験)へのご参加に
際した説明資料

2023年8月

本スキームの全体像(概要)



ポイント①

- ▶ 看護師の教育負担を軽減
 - 支援者の資金提供 (IEOを活用) による教育コンテンツ等の提供により、就職前の資金が潤沢でない時期において、金銭的負担を軽減

ポイント②

- ▶ 学習・キャリアのトータルサポート
 - 学習コンテンツ提供からキャリア支援までをトータルサポート
 - 学習履歴はNFT化することで管理し、受講完了後にマッチング市場に参入可能

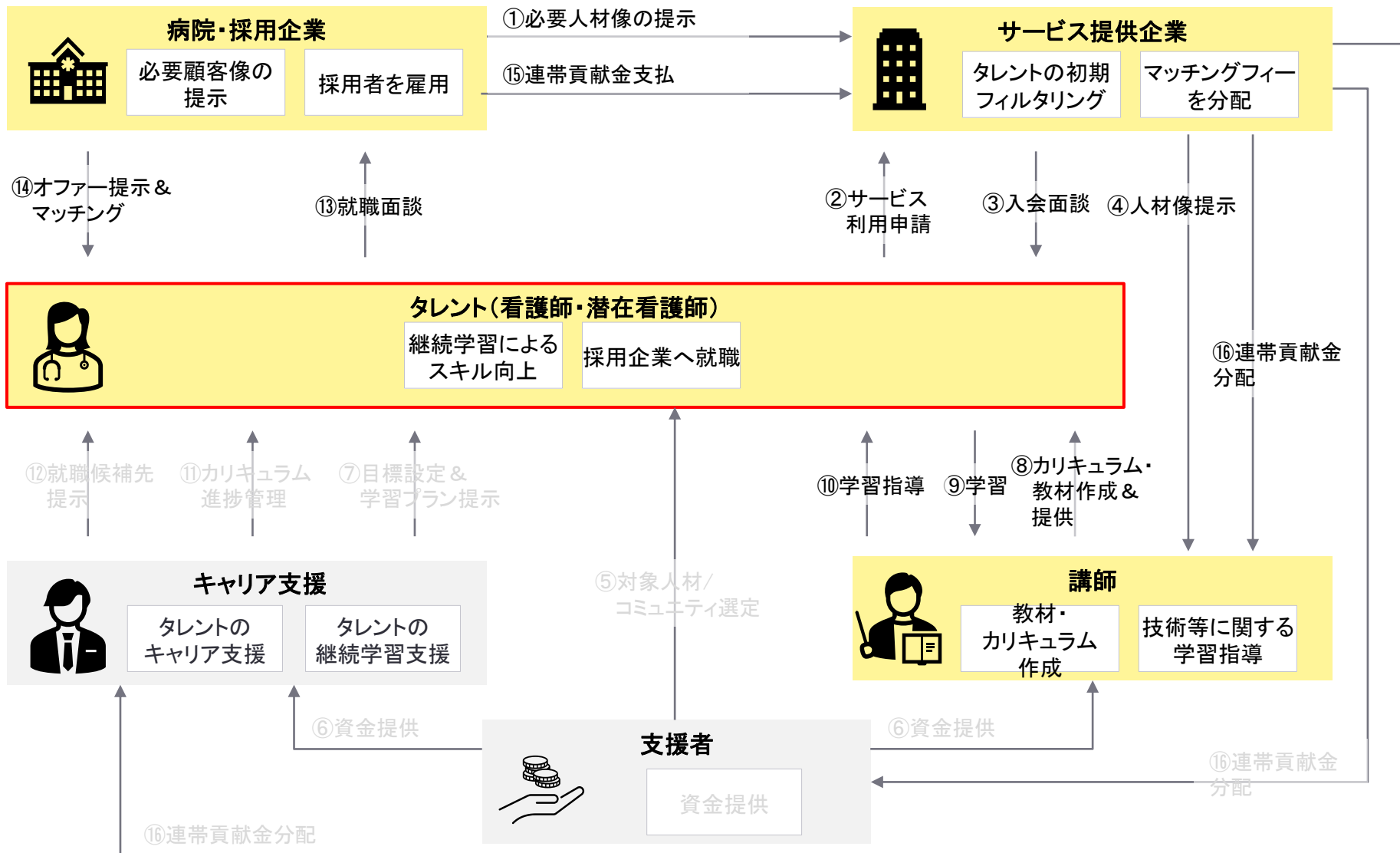
ポイント③

- ▶ 採用時のマッチングフィーの分割
 - 企業とのマッチングフィーを元手に事業運営することで看護師の資金負担を軽減することが可能 (プログラマブルコインを活用)

本スキームの概要及び競合優位性

プロセス	本スキーム	既存の人材紹介
求人情報の取得	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 希少性の高い人材を対象 <ul style="list-style-type: none"> - 求人情報を出しても、獲得が困難な市場において希少性の高い専門人材を対象に、求人情報を収集 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 幅広いポジションの、幅広い求人情報を収集 <ul style="list-style-type: none"> - 業種やポジションを絞らずに一般的な人材を対象にした求人情報を収集
求職情報取得(人材の選定)	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 優秀人材をフィルタリングして選定 <ul style="list-style-type: none"> - 求人情報にマッチした人材像をフィルタリングして人材選定を実施 - また、求職後のマッチングの不一致を可能な限り防止すべく、一定期間を設けてストレス耐性等の社会人基礎力の向上も図る 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 多種多様な人材を対象に求職情報を収集 <ul style="list-style-type: none"> - 求職者に関しては、対象を絞らず、多数の求人情報からマッチングを図る
人材の教育	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 求職情報に合わせて、無償で求人者を教育 <ul style="list-style-type: none"> - 求人情報のジョブディスクリプションに合わせて、専門の教材・カリキュラム・コーチングを提供して、人材を教育 - 教育資金は雇用時の成功報酬が元手のため、求職者の負担はなし 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 求人者の教育に関しては、関与しない <ul style="list-style-type: none"> - 人材の教育は求職者任せの状況 - 教育資金も求職者が負担
雇用契約	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 雇用には一定期間が必要だが、報酬は安価 <ul style="list-style-type: none"> - 求職者の教育に係る一定期間が必要 - 全体フローをシステム化することにより、雇用契約時の成功報酬を安価に設定可能 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 即時雇用が可能であるも、報酬は高価 <ul style="list-style-type: none"> - 求職者を即時で採用可能 - 理論年収の30-35%の成功報酬として受領しており、専門人材の場合はより高額

本スキームの詳細及びPoC対象範囲



PoCにおける検証項目

観点	項目	概要
ビジネス実証 (勝てるか?)	ビジネス成立要件に係る 領域への該当可否	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 本ビジネスモデルにおける重要論点は下記と推察 <ul style="list-style-type: none"> - バリューアップに寄与するタレントをどのようにフィルタリングをかけるのか - カリキュラム提供により、タレントのバリューアップに寄与するレベルまでの能力向上が可能か - 採用企業に対するタレント価値を定量的に示せるか
	共通機能として 他領域への展開可能な機能か	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 人材価値評価に係る数理モデル ▶ 連帯貢献金分配に係るエスクロー取引
技術実証 (できるか?)	自社リソース若しくは 関連プレイヤーで実現可能か	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 自社対応: サービス提供者 ▶ アライアンス対応: 病院、講師、タレント ▶ 支援者、キャリア支援部分は該当者なし
	新規開発分のシステムの 難易度が高くないか	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 支援者のSTOはハードルが高いため、PoCからは除くもの ▶ 連帯貢献金分配においても、ステーブルコインの利用可否の調整が難航する場合は、スマートコントラクトのみを実装し、資金決済はシステム観点のみの検証することも視野(ダミートークンでの実施)
事業性実証 (儲かるか?)	事業収益性の把握	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 現時点においては、顧客ニーズが高い機能(金銭を支払っても利用したい機能)、製造コスト面が未整理のため、割愛

PoCへのご参加に際した留意事項

- ▶ PoC参加によって知り得た情報(本ビジネススキーム、教材・テストなど)の外部への転載等は控えていただきますようお願いいたします。
- ▶ 2023年11月～2024年1月の間で当社が提示する教材を用いて、看護専門スキルに関する教育プログラムを受講していただきます。
- ▶ 受講履歴・テスト結果・面談結果等は、教材の効果測定等に活用させていただきます。
- ▶ あくまで実証実験の位置付けとなるため、実際の雇用を前提としないものをご理解ください。
- ▶ PoC終了後に、効果測定のためのアンケートをとらせていただきます。

EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world(より良い社会の構築を目指して)」をパーパスとしています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、戦略、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起(better question)をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EYパルテノンについて

EYパルテノンは、クライアントと共に、そのエコシステムの再認識、事業ポートフォリオの再構築、より良い未来に向けた変革の実施を支援し、この複雑な時代を乗り切る舵取りを支えます。グローバルレベルのネットワークと規模を有するEYパルテノンは、戦略的ソリューションの提供に注力しており、自社のトランスフォーメーションを目指す企業経営者が、より適切に課題を管理しながらチャンスを最大化する戦略を策定し実行するためのサポートを提供しています。戦略の提案から実行までを通じて、EYパルテノンは、クライアントが長期的価値をはぐくみ、より良い社会を構築することに貢献します。

EYパルテノンは、EYにおけるブランドの一つであり、このブランドのもとで世界中の多くのEYメンバーファームが戦略コンサルティングサービスを提供しています。詳しくは、ey.com/ja_jp/partenonをご覧ください。

© 2023 EY Strategy and Consulting Co., Ltd.
All Rights Reserved.

ED MMY

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp